

令和2年度第2回蕨市総合教育会議 議事録

1. 日 時 令和3年2月5日（金） 午後3時～午後3時50分

2. 会 場 市役所（仮設庁舎）3階 委員会室

3. 出席者（敬称略）

市 長：頼高 英雄

教育長：松本 隆男

委 員：加藤 正明、飯野 朗子、萩原 敏行、小島 奈津子

事務局：【市長部局】佐藤 慎也（理事）、伊藤 浩一（総務部長）、佐藤 則之（政策企画室長）、島田 雅也（政策企画室長補佐）

【教育部局】渡部 幸代（教育部長）、原田 卓治（教育部次長学校教育課長事務取扱）、田中 昌継（教育総務課長）、松永 祐希（生涯学習スポーツ課長）、渡邊 浩介（教育総務課庶務係長）、松永 由美子（学校教育課指導係長）

4. 内 容

1 開会

【伊藤総務部長】

ただいまから、令和2年度第2回蕨市総合教育会議を開会いたします。

2 あいさつ

【伊藤部長】

はじめに、頼高市長からご挨拶をお願いいたします。

【頼高市長】

皆さんこんにちは。本日は、たいへんお忙しいなか、また、緊急事態宣言が発出されているという厳しい状況にあるなか、令和2年度第2回蕨市総合教育会議にお集まりいただきありがとうございます。

また、日頃から蕨の教育行政の推進にたいへんご尽力、ご協力いただいておりますことに市長として御礼申し上げます。

さて、年末から年始にかけ、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、1月7日には、2度目となる緊急事態宣言が発出されました。市内小・中学校においては、感染防止対策を徹底しながら、通常どおり学校を開校していますが、市民の皆さんには、不要不急の外出自粛のお願い、また、事業者の皆さんには、午後8時までの営業時間短縮の要請などさまざまな感染防止にご協力をいただい

います。

この宣言期間中、市のイベントについても、原則、延期または中止とする方針とし、この間、1月11日に予定しておりました第75回蕨市成年式についても延期といたしました。宣言発出前は、コロナ禍を乗り越え、感染防止対策をしっかりと講じながら成年式をやり遂げることが、発祥の地にふさわしいと考え、2部制にするなど開催に向けて準備を進めておりましたが、更なる感染拡大や緊急事態宣言の発出が避けられない状況のなか、式典を開催することにはさまざまなお意見があり、まちをあげて新成人を祝福する状況にならない懸念もあることから、中止ではなく、今秋に延期する形をとり、あらためて次代を担う新成人を祝福し、ふるさとの仲間と旧交を温める機会を設けることとさせていただいたところです。

こうしたなか、蕨市では、独自の第1弾から第4弾にわたる蕨市新型コロナ緊急対策を打ち出し、これまで、ひとり親家庭への独自の給付金、水道料金の4か月分の無料化、小規模企業への2回の応援金の支給など、取り組みを進めてきました。

また、教育分野では、1人1台のパソコン整備の前倒しや、文化芸術の支援としてのアーティスト動画配信プロジェクトなどを実施してまいりました。

そして、先日、第5弾となる蕨市新型コロナ緊急対策を発表させていただき、現在、全国各地で高齢者施設での集団感染が深刻な課題となっていることから、高齢者施設等の従事者を対象とした、月1回（計2回）、無料でのPCR検査の実施や、県内初となる市民一人当たり3千円の電子商品券の支給などを進めることとしております。

また、新型コロナの終息に向けて鍵を握るワクチン接種については、市が実施主体となるたいへん大きな事業であることから、先月1月12日には、総勢14名からなるプロジェクトチームを立ち上げ、現在、医師会の先生方にもご協力いただきながら、円滑な接種に向けて準備を進めているところでございます。

さて、本日の会議は、年度の2回目ということで、例年と同じように、新年度の教育の重点事業を議題としております。

重点事業の一つ目は、学校ICTの本格的な推進です。今年度は、児童・生徒1人1台のパソコン端末や学校のWi-Fi環境、大型テレビなどの整備が無事に完了し、先月15日には、児童・生徒が一斉にインターネットに接続する「一斉接続チャレンジinわらび」でリアルタイムによるアンケートの集計などが行われ、先生方も含めて児童・生徒約4,500人が参加し、その模様はケーブルテレビでも放送されました。

新年度は、こうしたICT環境の整備を踏まえ、本格的な活用を図っていかうと、新たにICT支援員を配置するなど、取り組みを推進してまいります。

2つ目は、重要な課題となっている英語教育です。これまで、各校に1名のALTの配置を進めてきましたが、新年度は、中学2・3年生を対象に、英語4技能テストの一つであるGTECの受検を通じて、一層の英語の学力向上を目指していきます。

また、学校体育館へのエアコン整備については、中学校全校の体育館にエアコン設置を行うとともに、翌年の工事を行う小学校2校の設計委託を行うなど、教育環境の整備を図り、更なる学校教育の充実を図ってまいります。

それぞれの事業の詳細については、後程、担当よりご説明をさせていただきますが、コロナ禍においても、次代を担う子どもたちがしっかりと健やかな成長を育んでいけるよう、新年度も全力を尽くしてまいります。本日は忌憚のないご意見をいただき、蕨市の教育行政の推進に向けて委員の皆様のお力添えをいただくことをお願いしまして、冒頭の挨拶とさせていただきます。

3 議題

【伊藤部長】

ありがとうございました。それでは、要領第3条の規定に基づきまして、会議の議長を頼高市長にお願いさせていただきます。頼高市長、よろしく願いいたします。

【頼高市長】

はじめに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、総合教育会議は公開することとなっておりますが、本日の会議に傍聴の希望者はいらっしゃいますか。

【伊藤部長】

本日は、傍聴希望者はありません。

(1) 令和3年度教育事業の概要(案)について

【頼高市長】

それでは、会議次第に基づきまして、会議を進行いたします。議題(1)の「令和3年度教育事業の概要(案)」について議題とします。事務局から説明をお願いします。

【田中課長】

令和3年度教育事業の概要案についてご説明します。

教育の目標についてでございますが、施策の根本的な方針である大綱は、教育基本法第17条に基づき定めるものとされており、蕨市教育大綱は、第2期蕨市教育振興基本計画において、蕨市の教育の目指すべき姿として掲げる、基本理念、基本方針、基本目標を骨子として構成しております。

令和3年度教育事業の概要（案）は、この蕨市教育大綱を基に、基本目標に掲げる「①学びあい高めあう学校教育の充実」、「②生涯学習を支える社会教育の充実」、「③どこでもだれもが親しめる生涯スポーツの充実」の各分野において実施する12事業となっております。

なお、各事業については、新規事業及び拡充事業のみを抜粋し、各所管課から説明をさせていただきます。

1 学校 ICT 環境の活用（ICT 支援員の配置）

【原田次長】

予算額は990万円です。令和2年度中に、市立小・中学校の全児童・生徒が1人1台の学習者用端末を利用できる環境が整ったことから、その効果的な活用ができるよう、ICT支援員1名を配置する予定です。学校の巡回訪問を通して学校からあがってくるさまざまな課題に対応するとともに、授業や校務における教員への支援、教員研修や端末障害の切り分けなどを実施し、教員が児童・生徒に情報活用能力を身に付けることができるよう支援してまいります。

2 ALT や GTEC を活用した外国語教育

【原田次長】

予算額は4,229万2,000円です。外国語教育のより一層の充実を図るため、令和2年度より市内小・中学校に1名ずつのALTを派遣して外国語指導を実施してまいりました。この1校1名の配置により、「担任との綿密な打合せによる、ALTを効果的に活用した授業の展開」が全小・中学校で実施できるようになり、あわせてALTによる「教材開発の充実」も図られたところです。

更に、「話すこと」などの習熟度を図るため、パフォーマンステストをALTと担任が共同で実施することで、児童・生徒の学習習熟度を適切に把握し、一人ひとりの学習改善や教職員の指導改善に取り組んでまいりました。

このことに加えて、令和3年度は、中学2・3年生を対象に、GTECを活用した英語4技能テスト（聞く・話す・読む・書く）を実施します。

なお、GTECの結果などを活用した年2回の教職員研修の実施、学習者用端末を活用した外国語学習を組み合わせた、生徒の外国語活用能力の一層の向上を図ってまいります。

3 スクール・サポート・スタッフの配置

【原田次長】

予算額は682万9,000円です。令和2年10月から、市立の全小・中学

校に配置したスクール・サポート・スタッフを継続的に配置していく予定です。主に、教職員の働き方改革に資するため、会議資料及び学習用プリントの印刷、採点業務、来客・電話対応等を行う職員となっており、1日5時間、年間130日間の勤務を予定しております。

4 学校体育館エアコン設置工事

【田中課長】

予算額は2億2,304万3,000円です。近年の猛暑対策として、これまで、学校における教育環境の向上とともに、避難所としての機能を高めるため学校体育館に空調設備を設置する計画を進めてまいりました。

令和3年度は、全中学校で設置工事を行うほか、小学校2校の設計委託を行う予定としております。

【頼高市長】

それでは、皆さんよりご意見、ご質問がありましたらお願いします。

説明のあったものに限らず、教育事業の概要に掲げられている他の事業についてでも構いません。

【飯野委員】

蕨市では、早くから少人数学級に取り組みられてきましたが、先日、国においても1学級あたりの上限人数を35人とすることが閣議決定されました。国の事業となることで、市費の軽減などは図られることになるのでしょうか。

【頼高市長】

ご承知のとおり、蕨市では、市独自に小学6年生までの35人程度学級を実施しており、この間、一定の成果をあげてきたと考えています。

先般、国においても、40年ぶりに義務標準法（公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律）が改正され、2021年度から5年間かけて、2年生から6年生までの1学級あたりの上限人数を現行の40人から35人へと段階的に引き下げていくことが閣議決定されました。

これらが全て実行されれば、これまで、市費で対応していたものが国庫負担となることから、市の財政負担も軽減されるものと考えています。

【飯野委員】

ICT支援員が配置されることは、非常に良いことだと感じています。教員の皆さんのモチベーションを引き出すことにもなりますし、心理的な負担軽減も図られるものと思います。

ICT端末などを教員の皆さんが使いこなすことが子どもたちへのより良い指導につながることから、指導する側、指導される側の双方にとって良いシステム

となることを期待しています。

【萩原委員】

スクール・サポート・スタッフの配置は、教員の皆さんの仕事量の軽減など働き方改革を進めるうえで素晴らしい取り組みだと思います。

現在、さまざまところで負担軽減は図られていると思いますが、貧困家庭への支援や学習環境のない家庭への支援など、それぞれの状況に応じた対応に苦慮されている教員の皆さんも多いものと思います。

蕨市では、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配置も進んでおりますが、今後も、更なる充実が図られればと思います。

【加藤委員】

先日、東中学校の学校訪問に伺った際、先生の指導のもと、タブレットを活用して体育の授業が行われていました。班ごとの授業でしたが、全ての班で子どもたちがタブレットを使いこなす姿を目の当たりにし、子どもたちの「力」をあらためて感じました。小学生については、中学生ほど使いこなせていない印象でしたが、先生方の指導を通じて、活用が広がっていければ良いと感じています。

【萩原委員】

ICTの活用は、学習をサポートする側面からも非常に重要なものですが、子どもたちとの直接的な関わりはおろそかにすることはできません。

また、各家庭における環境差などから、一部の子どもたちにとって良いことも、他方では良く見えないこともあり、そのことが批判につながる恐れもあるかと思えます。こうした状況に対応する先生たちを支える体制づくりやその姿勢を伝えていくことが、教員の孤立を防止し、更には、学校や地域からのサポートを得られているという意識の向上につながり、一層ICT教育も歓迎されていくのではないのでしょうか。

【小島委員】

コロナ禍の生活が早くも1年となりました。この間、私自身も何度か学校訪問の機会をいただいておりますが、昨年の1回目の緊急事態宣言に伴う休校後は、子どもたちは、どこか静かで落ち着きがなく、心が学校と離れてしまっているように見受けられました。

しかし、先日の学校訪問では、私たち大人がいまだコロナ禍のなかで右往左往しているようななか、子どもたちなりに現状を受け止め、馴染み、落ち着きを取り戻しているような印象を受けました。

また、今年度、蕨市でICT環境の整備が進んだことは非常に良かったと感じています。タブレット端末の活用はもちろんですが、機器が教室で保管されていることで、子どもたちがいつでも活用できる身近なものとして感じる事ができると思います。

今後、コロナ禍のなか、ICT教育がどのように進んでいくのか見通しがつかない部分もありますが、蕨市が先駆けとして取り組んだことは、先生、子どもたちの双方にとって良い影響があるのではないかと期待していきたいです。

更に、こうした取り組みを実施したことで満足するのではなく、ICT教育の導入によるメリット、デメリットなどを可視化できるような報告をお願いしたいと思います。先生のお仕事を増やしてしまうかもしれませんが、保護者の皆さんも注目しているのではないのでしょうか。

【飯野委員】

ICTの導入に当たっては、先生も子どもたちも新しい環境に対応していかなければならずとてもたいへんだと思います。

そして、どんなにICT教育が進んだとしても、私たちは一人の人間です。やはり社会で生きていくうえで大切なことは、「見る」、「聞く」、「話す」などの能力や、人と触れ合いコミュニケーションを図っていくことだと考えています。ICTの活用は、その能力を広げていくための補助だということを忘れないで利用していくことが一番大切なのだと思います。どうしても新しいことに目がいくものですが、使う人、使わせる人も、一度立ち止まって目的を確認することが大事なのではないのでしょうか。

また、私は立場上、団体や施設等での感染予防対策の状況を確認したり、アドバイスをしたりする機会がありますが、蕨市の教育現場の皆さんの取り組みは素晴らしいと思います。確かに当初は戸惑いも見受けられましたが、重点を置くべきポイントを押さえた対策が徹底されており、新しい生活様式の実践など賞賛されるべきものです。ぜひ学校関係者の皆さんにお伝えください。

【松本教育長】

この1年はコロナに翻弄されるなか、さまざまな決断を下していく必要がありましたが、市長をはじめ行政のご協力をいただき、今年度は、1人1台のパソコン整備の前倒しなど、関連事業を進めることができたことに感謝しています。

ICTの活用にあたっては、皆さんからのご意見にもあるように、ICT化が目的化することなく、子どもたちの能力を伸ばす一助であることをしっかりと意識して取り組みを進めてまいります。

さて、例年、蕨市では7・8年次の教員を対象とした研修を実施しており、昨日、各校教員による1年間の自主研修の成果発表が行われました。運動を通じた子どもたちの育成に関する研究では、自主的な運動機会の提供などを通じて、体育の授業が好きな子どもたちの割合が100%となった事例が紹介されるなど、教員が子どもたちのために何ができるかを考え、一生懸命に取り組んでいる姿がありました。

こうした教員研修の成果などについても、各校の教員に共有していくことで、

更なる教育活動の充実につなげていきたいと考えております。

(2) その他

【頼高市長】

次に(2)その他について、事務局から何かありますか。

【佐藤室長】

「アーティスト動画配信プロジェクト in Warabi 公式ガイドブック」について担当よりご報告いたします。

【松永課長】

このプロジェクトは、新型コロナウイルスの影響で、さまざまなイベント等が中止となり、文化芸術活動の場を制限されている方々に対する支援として、昨年8月に事業をスタートさせました。

内容といたしましては、プロ・アマを問わず、音楽家や舞踊家、ダンサーなどのご参加をいただき、演奏や演技などの様子を撮影した動画作品を、YouTubeにおいてネット配信するというものです。

最終的に集まった作品は、音楽系46、ダンス17、ショートムービーほか8の、71動画となり、全ての作品をネット上にアップできたところであります。

これまで、市のホームページ上でPRを行ってまいりましたが、全作品の配信完了に伴い、QRコード付きのガイドブック1,500部を作成し、あらためて広くPRしていこうと考えております。

なお、動画の配信は3月31日までを予定しておりますので、ぜひ、一度ご覧ください。

【市長】

今年度は、コロナ禍で多くのイベントが中止となり、非常に残念ではありましたが、この動画配信プロジェクトは、出演者の皆さんの活動をじっくり見る機会にもなったと思います。

これまで、イベントに足を運んだことがなかった人にも、出演者の皆さんの多彩な活動を知っていただくきっかけにもなったのではないのでしょうか。

【萩原委員】

現在、タブレット端末の利用は、授業の時間などに限られたものだと思いますが、家庭にインターネット環境等のない子どもたちもいるため、自由に使える機会を広げ、授業のなかだけではなく、日常生活に関連した機器利用についても取り組みを進めていただければと思います。

このような活用の一環として、動画配信プロジェクトのような身近な地域の情報に触れることができれば、子どもたちのまちへのつながりも育まれていくのではないのでしょうか。

【原田次長】

日常的な利用を通じて、有効な情報を得られるようにしていくことが大切だと思っています。

現在、タブレット端末を使用する際は、安全面を考慮し、クラウド上にアクセスするなどの制限をしておりますが、ご意見のように、子どもたちが柔軟に活用できるよう、セキュリティに配慮した安全な運用について検討してまいります。

【頼高市長】

そのほか、事務局からは何かありますか。

【佐藤室長】

次回の会議日程の提案でございますが、令和3年10月頃の開催を提案させていただきますがいかがでしょうか。

【頼高市長】

ただいま、事務局から次回の会議日程について提案がありましたが、いかがでしょうか。

【一同】

異議なし。

【頼高市長】

それでは、次回の会議は、10月に開催することといたします。

その他、何かありますか。

【佐藤室長】

最後に、本日の会議録につきましては、事務局で作成した後、皆さまにご確認をさせていただき、要領第6条の規定により、公開をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【頼高市長】

それでは、以上で本日の議事を終了いたします。ありがとうございました。なお、加藤正明教育長職務代理者におかれましては、令和3年3月14日をもって、蕨市教育委員会委員としての任期が満了となります。

平成25年から計8年にわたり、教育委員として教育行政の推進にご尽力いただきまして、ありがとうございました。今後も引き続き、市政に対して忌憚のないご意見をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、進行を事務局へお返しします。

4 閉会

【伊藤部長】

ありがとうございました。それでは、本日の会議はこれで全て終了いたしましたので、閉会とさせていただきます。